



Interim Report 第66期 中間報告書

2020年4月1日から2020年9月30日まで

Your Success, Our Pride.

東洋エンジニアリング株式会社

<https://www.toyo-eng.com/jp/>

証券コード：6330



◎ ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループの第66期上半期(2020年4月1日から2020年9月30日まで)の事業の概況等につきご報告申し上げます。

2020年度上半期の業績

当上半期の実績は、複数の国内向けバイオマス発電所、ロシア向けエチレン・ポリエチレン製造設備、インド向け化学肥料コンプレックス等のプロジェクトの進捗により、売上高(完成工事高)が897億円(前年同期比20.4%減)となりました。利益面では、営業利益12億円(前年同期比57.7%減)、経常利益14億円(前年同期比21.7%減)、税金費用控除後の親会社株主に帰属する四半期純利益7億円(前年同期比71.4%減)となり、前年同期比では減収減益となりました。受注高は、市原バイオマス発電所等の受注により593億円(前年同期比6.9%増)となりました。



取締役社長 永松治夫

主要プロジェクトの状況

- ◆米国向けエチレン製造設備
 - ・本年2月中旬に建設工事を完了しエチレンの生産を開始。現在は顧客への引渡しを終えております。
- ◆マレーシア向けエチレンコンプレックス
 - ・昨年12月、引渡しを完了しました。
- ◆国内向けナフサ分解炉増設プロジェクト、国内向けメガソーラー発電プロジェクト
 - ・いずれも順調に進捗し上半期内に引渡しを終えております。

受注見通し

プラント分野では、新型コロナウイルス問題の影響拡大前は、国内において設備更新の需要があり、海外においては、ダウンストリーム(石油化学プラントや化学肥料プラント等)への設備投資において、堅調な需要を背景に、アジア地域を中心に案件が具体化しておりました。ソリューションビジネス分野では、既存油田の改修等のサービス業務など、将来の資源開発に向けた

ソフト業務や関連する業務の需要が出てきておりました。しかし、新型コロナウイルス問題とそれに起因した原油価格の下落により、プラント分野およびソリューションビジネス分野において、顧客の投資計画の見直しや最終投資決定が遅れる等の影響を受けております。

インフラ分野では、新型コロナウイルス問題の影響を受けつつも、国内において、メガソーラー発電所やバイオマス発電所等の再生可能エネルギーの設備投資が続き、また、中長期的には大型ガス火力発電の需要が見込まれています。東南アジア、ブラジル等でも電力需要は増大しており、今後も設備投資が見込まれます。

事業環境は総じて厳しい状況が続いておりますが、当社グループ一丸となり今期の受注目標2,200億円の達成に注力してまいります。

株主の皆様へのメッセージ

新型コロナウイルス問題の影響はございますものの、当社グループは再建に向け、再生計画を着実に進捗させております。当社としては、以前より推し進めてきた、プラント事業中心の事業ポートフォリオからプラント事業とインフラ事業の2本柱への変革に継続して取り組むとともに、デジタルトランスフォーメーションを推進し、プロジェクト遂行における業務効率化・コスト削減を図っております。また、この環境変化を当社の強みを伸ばす好機ととらえて、従来のEPC以外の事業機会の創出および、これを支える次世代技術開発に注力してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年11月

取締役社長 永松治夫

トピックス

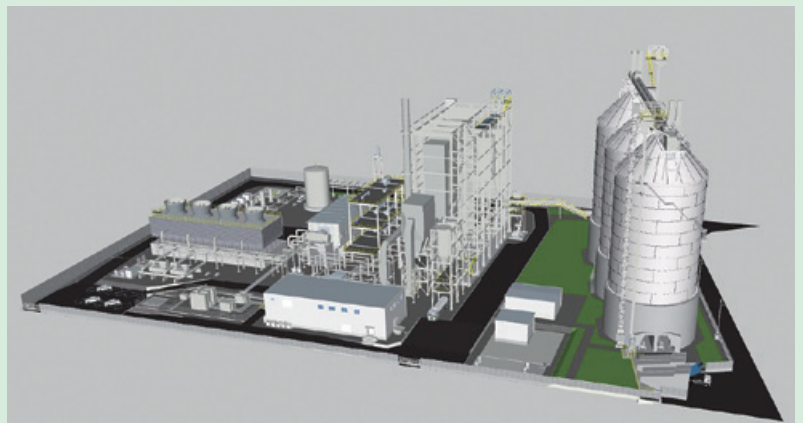
千葉県にてバイオマス専焼発電所を受注

当社は市原八幡埠頭バイオマス発電合同会社が千葉縣市原市に計画する75,000kWバイオマス発電所建設プロジェクトを受注しました。本発電設備は、再熱方式^(注)を採用した高効率な木質バイオマス専焼発電設備で、当社は発電設備一式の設計、機器資材調達、建設工事、試運転までのEPC業務を一括請負で実施します。

当社は発電プラントを中心としたインフラ分野を中核事業の1つに位置づけ、国内では太陽光発電やバイオマス発電といった再生可能エネルギー発電に積極的に取り組んでいます。本プロジェクトはこれまでに受注した茨城県、富山県、鳥取県、北海道、愛知県における50MW級、および静岡県における75MW級に続き、当社にとって7番目のバイオマス専焼発電所案件となります。

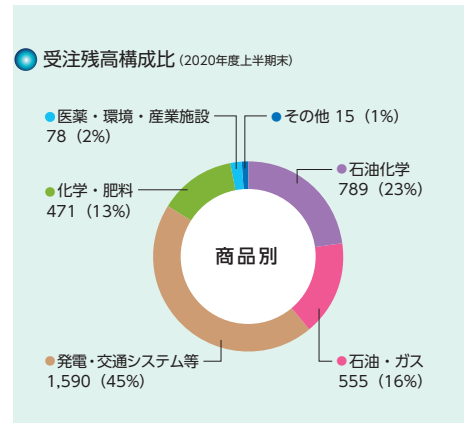
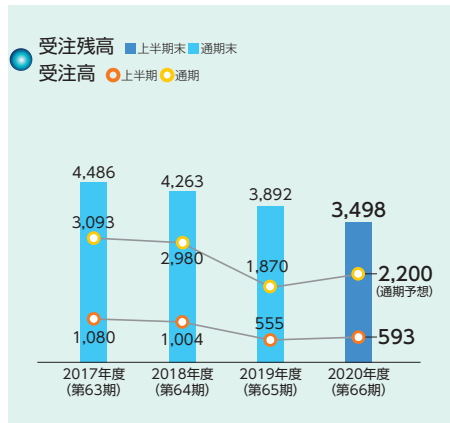
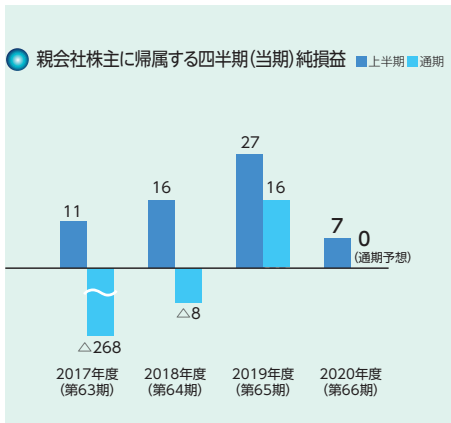
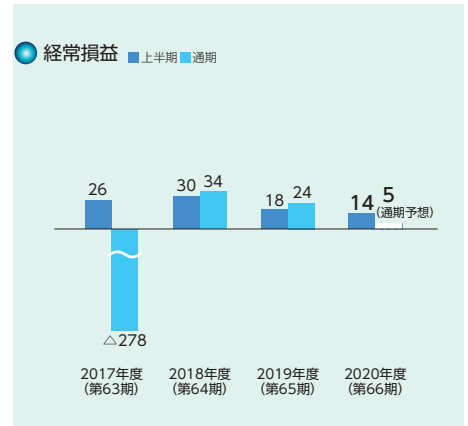
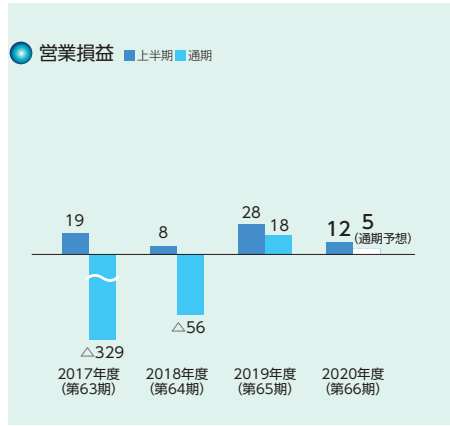
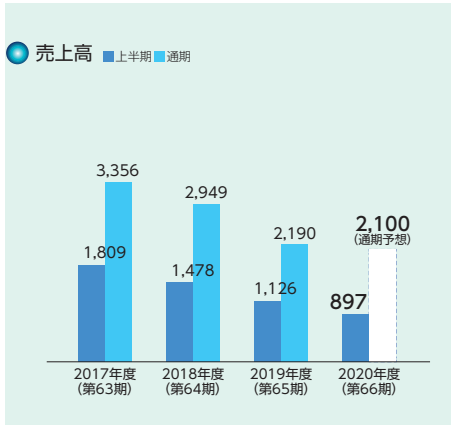
低炭素社会の実現に貢献すべく、当社は今後もバイオマス発電をはじめとする再生可能エネルギー利用への取り組みを推進してまいります。

(注)再熱方式：蒸気タービンにて仕事をした蒸気をボイラーにて再加熱し、再度蒸気タービンへ通気させることにより高い発電効率を実現することができます。



市原バイオマス専焼発電所3Dモデル(参考用)

連結財務ハイライト (単位: 億円)



連結財務諸表

連結貸借対照表 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	前年度末 (2020年3月31日)	当第2四半期末 (2020年9月30日)
(資産の部)		
流動資産	187,804	184,359
固定資産	20,914	21,634
有形固定資産	11,517	11,729
無形固定資産	1,338	1,510
投資その他の資産	8,059	8,394
資産合計	208,719	205,994
(負債の部)		
流動負債	155,672	144,926
固定負債	17,066	26,559
負債合計	172,739	171,485
(純資産の部)		
株主資本	36,182	36,956
資本金	18,198	18,198
資本剰余金	4,567	4,567
利益剰余金	13,862	14,635
自己株式	△445	△445
その他の包括利益累計額	△323	△2,572
非支配株主持分	121	124
純資産合計	35,980	34,508
負債純資産合計	208,719	205,994

*記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	前第2四半期累計期間 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)	当第2四半期累計期間 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)
完成工事高	112,647	89,701
完成工事原価	102,091	80,517
完成工事総利益	10,555	9,184
販売費及び一般管理費	7,685	7,969
営業利益	2,869	1,214
営業外収益	761	840
営業外費用	1,823	639
経常利益	1,808	1,415
特別利益	1,973	-
税金等調整前四半期純利益	3,782	1,415
法人税等	1,065	637
四半期純利益	2,716	777
非支配株主に帰属する四半期純利益	13	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,703	773

*記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	前第2四半期累計期間 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)	当第2四半期累計期間 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△14,415	4,083
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,669	△4,417
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,935	△864
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,114	△730
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△12,795	△1,929
現金及び現金同等物の期首残高	97,907	80,213
現金及び現金同等物の四半期末残高	85,111	78,283

*記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

詳細な財務情報については当社ウェブサイト「IR情報」をご覧ください。

東洋エンジニアリングIR

検索

<https://www.toyo-eng.com/jp/ja/ir/>

● 会社概要 (2020年9月30日現在)

商号 東洋エンジニアリング株式会社
 創業 1961年5月1日
 資本金 18,198,978,851円
 従業員数 1,002名

● 役員紹介 (2020年9月30日現在)

取締役会長	阿部 知久	専務執行役員	細井 栄治
代表取締役 取締役社長	永松 治夫	常務執行役員	井上 光彦
代表取締役 取締役副社長	芳澤 雅之	常務執行役員	小山内 亨
取締役 常務執行役員	脇 謙介	常務執行役員	藤田 浩
取締役 常務執行役員	鳥越 紀良	常務執行役員	森野 圭二
取締役 (社外取締役)	田代 真巳	常務執行役員	松室 健
取締役 (社外取締役)	山本礼二郎	執行役員	小島 浩次
取締役 (社外取締役)	寺澤 達也	執行役員	福原英一郎
取締役 (社外取締役)	宮入小夜子	執行役員	藤野 雅弘
常任監査役 (常勤)	内田 正之	執行役員	深井 利嗣
監査役 (常勤)	生方 千裕	執行役員	宮崎 能成
監査役 (社外監査役)	船越 良幸	執行役員	鈴木 恭孝
監査役 (社外監査役)	内田 清人	執行役員	坂田 英二
		執行役員	小槻 雅人

● 株式の概況 (2020年9月30日現在)

▶ 発行済株式総数 普通株式 38,558,507株
 A種優先株式 20,270,300株
 ▶ 株主数 普通株式 15,769名
 A種優先株式 2名

▶ 大株主一覧

① 普通株式

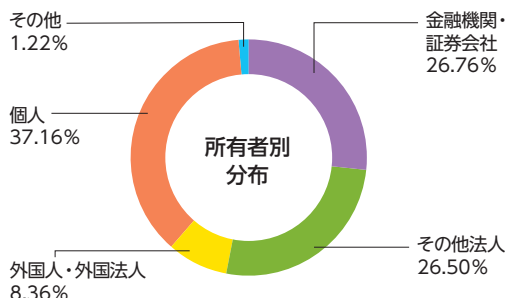
株主名	持株数(千株)	所有議決権比率(%)	持株比率(%)
三井物産株式会社	8,754	22.89	14.93
株式会社日本カストディ銀行 (三井住友信託銀行再信託分・三井化学株式会社退職給付信託口)	5,140	13.44	8.77
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,459	3.81	2.48
大成建設株式会社	1,000	2.61	1.70
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	546	1.42	0.93
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	483	1.26	0.82
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	479	1.25	0.81
株式会社三井住友銀行	470	1.22	0.80

② A種優先株式

株主名	持株数(千株)	所有議決権比率(%)	持株比率(%)
インテグラルTeam投資事業有限責任組合	17,576	—	29.99
Innovation Alpha Team L.P.	2,693	—	4.59

(注) 1. 持株比率は、自己株式225,690株を控除して算出しております。
 2. A種優先株式には議決権がありません。

▶ 株主の分布状況(普通株式)



● 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当の基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

同事務取扱所 (郵便物送付先) 電話照会先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 全国各支店
上場証券取引所	東京証券取引所

株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会の内容	お問合せ先	
	証券会社の口座に記録された株式	特別口座に記録された株式
<ul style="list-style-type: none"> ● 単元株式数の変更・株式併合に関するお問合せ ● 単元未満株式の買増・買取請求 ● 特別口座から証券会社の口座への振替請求 ● 配当金受領方法のご指定またはご変更 ● 住所・氏名等のご変更 	口座を開設されている証券会社 にお問合せください。	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)
<ul style="list-style-type: none"> ● 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ● 未払配当金に関するご照会 ● 配当金の支払明細発行 ● 株式事務に関する一般的なお問合せ 	右記三井住友信託銀行株式会社 にお問合せください。	



見やすく読みまちがえにくい
 ユニバーサルデザインフォント
 を採用しています。

